









































## ニシヌメー(北の宮)

ニシヌメーは壺屋の拝所の一つです。「ニシ」とは方言で北のことを指します。

昔は、この地にニシヌ窩と呼ばれる登り窩がありましたが、大正7年に、窩を崩して大和風のお宮を作りました。そこに土地の守り神である土甕君(トーティークン)と、焼物の神様がまつられ、北の宮と名付けられました。

昔は、陶工やその家族が拜んでいましたが、現在では焼物の関係者だけでなく、壺屋地域の発展、健康祈願などの目的で拜む人々もいます。

1998年

那覇市立 壺屋焼物博物館













